**注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。**

**２社以上の連名で申請する場合は、本頁を各社ごとに作成ください。**

様式３

（リデュース事業）

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

注）奨励賞にご応募の場合にのみ付記してください。↑

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな）①会社名又は事業所名 |  （印） |
| ②〒、所在地、電話番号 |  |
| （ふりがな）③代表者役職氏名 |  （印） |
| ④資本金又は基本財産 |  百万円 |  ⑤従業員数 |  人 |  ⑥出荷額 |  　　 百万円／年 |
| （ふりがな）⑦連絡者　所属部署、役職、氏名、住所、電話番号、ＦＡＸ番号、〒、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 　　　　　　　　　　　　　　　　電 話　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail 〒、住所*（②の〒所在地と同じ場合は省略可）* |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）*（申請内容を端的に表現する**テーマ名を付けてください）* |  |
| ⑨発生・排出抑制の対象　となる副産物・廃棄物 |  |
| ⑩発生・排出抑制実施前の　副産物・廃棄物量（平成　　年（年度）実績 ） |  　　発　生　量（※１） 　 ｔ／年 　　排　出　量（※２） 　 　ｔ／年 　　最終処分量　　 　　　 　 ｔ／年 |
| ⑪発生・排出抑制実施後の　副産物・廃棄物量　（平成　　年（年度）実績 ） |  　　発　生　量（※１） 　 ｔ／年 　　排　出　量（※２） 　 ｔ／年 　　最終処分量 　 ｔ／年 |
| ⑫発生・排出抑制の開始年月 |  |  ⑬発生・排出抑制の 継続年数 |  |
| ⑭本制度に係る過去の表彰　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  |  ⑮他の制度による 過去の表彰実績（*名称、受賞年度，**賞の種類）* |  |
| ⑯所属団体名 |  |  ⑰本表彰の募集を何 　で知りましたか *（具体的に）* |  |
| ⑱申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  |

※１「発生量」とは、事業所内で副産物や廃棄物（有価物を含む。）が発生した時点の量をいいます。

※２「排出量」とは、事業所外に排出される廃棄物量（有価物として売却した量を除く。）をいいます。

**注）本頁は、本文（２頁目以降）記述要領の説明です。**

**以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。**

**該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。**

**また、追加項目があれば、追加ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

**本文の構成**

１．要旨

２．副産物・廃棄物について

注）副産物・廃棄物の名称、どこから出る副産物、廃棄物か、数量、形態、特徴等（図絵等を用いて記述）

３．リデュース事業実施以前の状況

注）副産物・廃棄物の種類毎の発生・排出・処理・リサイクル・処分等の状況（図絵等を用いて記述）

４．リデュース事業実施後の状況

注）副産物・廃棄物の種類毎の発生・排出・処理・リサイクル・処分等の状況（３．との対比。フローシート、図絵等を用いて記述）

５．リデュース事業の取り組み内容（２社以上の連名の場合は、各社の役割分担が判るように記述）

 (1) 各工程の説明

注）フローシート、図絵等を用いて記述

　(2) 各副産物・廃棄物の発生・排出量の推移（平成２６～３０年）

　(3) 技術・システムのポイント、新規性、改善点、同種事業との相違点

注）フローシート、図絵等を用いて記述　**⇒**　**重要**

　(4) その他

６．事業所（会社）等全体の副産物や廃棄物の発生量・排出量・最終処分量の推移（平成２６～３０年）

７．リデュース事業実施による効果

　(1) 廃棄物の減量効果（廃棄物の焼却・埋立削減等）

　(2) 省資源・省エネルギー効果

　(3) 環境保全効果、ＣＯ2 削減効果

　(4) 経済効果

　(5) 波及効果

　(6) その他の効果

８．申請内容の特徴、新規性、同業他社との相違点（技術、システム）

９．特許等の有無

１０．二次公害防止のための対策

　(1) 二次廃棄物の発生・処理・処分状況

　(2) 二次公害防止のための対策

１１．リデュース事業の動向

　(1) 実施上の問題点と対応策

(2) 将来構想